

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
余剰種苗譲渡収入	千円	38,000	18,492

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度は、水槽の半分について年度後半（R2.10～3月）に改修工事を実施しており、その工事をしている間も、残り半分の水槽は稼働しているため、余剰種苗の譲渡収入は中期経営計画の目標どおりを見込んでいた。しかし、種苗生産初期に与える餌料（プランクトン）の培養が不調であったため、餌料の確保が十分でなく計画していた余剰種苗の確保ができなかった。</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>・R 3 年度の生産については、十分な初期餌料の確保に努め極力生産尾数の増加を図り、R2年度の実績を上回ることにしたい。</p> <p>・なお、昨年度に引き続き、年度後半は改修工事により水槽の約半分が使用できないが、早期に出荷できるよう譲渡先との調整や販売先の新規開拓を行い、収入の増加を図っていく。</p>
---------	---

〔2〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
管理費	千円	21,100	28,388

未達成の要因と分析	<p>・R2年度においては、以前まで別であった栽培事業場長と総務課長を兼任することにより、法人全体における人件費の削減を図った。その栽培事業場長兼総務課長の人件費については、R2年度当初、栽培事業費（種苗生産コスト）での計上を予定していたが、顧問会計士の指摘により、管理費で計上することとなったため、当初の目標より人件費分が増加したものの。</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>・R 3 年度は、栽培事業場を他のポストで兼任することにより、R2年度に引き続き法人全体における人件費の抑制を図っていくが、人件費を管理で計上するためR3年度の目標値の修正を行うこととする。</p>
---------	--